

# 津波対策(2)

## 津波からの避難



※津波フラッグは避難の合図!!



津波警報等を知る手段に、令和2年夏より新しく『津波フラッグ』が加わりました。海岸で『津波フラッグ』を見かけたら、速やかに避難しましょう。

## 津波の特性と避難行動のポイント

- ! 水辺からすぐに離れる**

津波注意報であっても水辺は危険。ただちに海岸や川べりから離れる。
- ! 津波の速度は速い**

津波の速度は非常に早く、目に見えてから逃げるのでは間に合わない。
- ! 避難したら戻らない**

到達予想時刻が過ぎたり、第一波が引いたとしても、津波警報・注意報が解除され安全が確認されるまでは避難を継続する。
- ! 津波は何度も来る**

津波は一度だけでなく複数回襲来し、後から来る津波の方が高くなることもある。
- ! 津波は場所により高くなる**

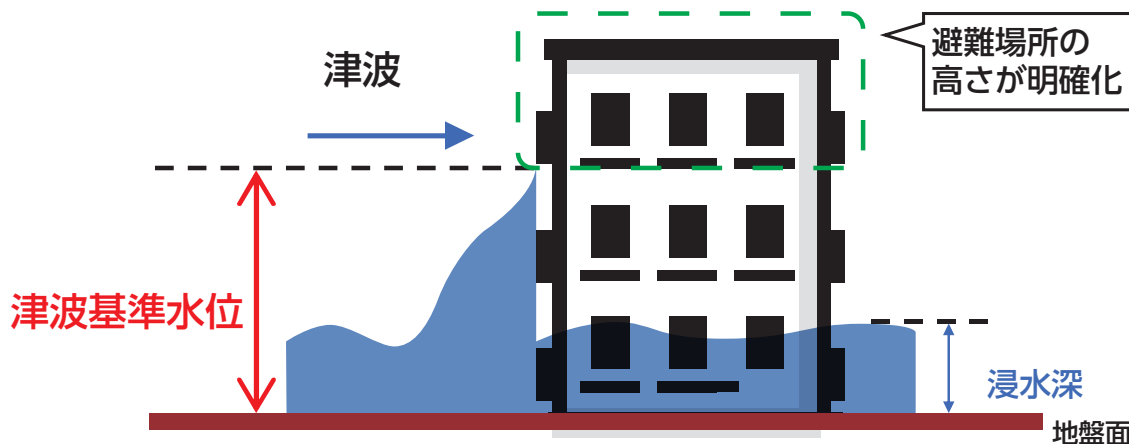
津波は沿岸に近づき水深が浅くなるほど、急激に高くなる。また、V字型の湾や岬の先端など、地形の影響で局部的に高くなる
- ! 津波は遠くからも来る**

津波は遠方の地震等によって発生することもある。日本近海の地震が伴わない津波警報・注意報にも注意する。

## ❖ 津波の高さ30cmでも人は流される!!

津波に巻き込まれた場合、津波の浸水深0.3m(30cm)でも人は流され死亡者が発生、浸水深1mになると立つことができず、死亡する確率が大幅に高くなります。ハザードマップで津波浸水深(津波基準水位)が低い場所でも、速やかに避難が必要です。もし逃げ遅れた場合には、無理して遠くの避難所を目指さず、近くの高台や堅牢な建物の上層階に避難してください。

## 津波基準水位(せり上がり浸水深)について



津波基準水位とは、津波が建物等に衝突した際の、せり上がりの高さを加えた水位のことをいいます。  
津波浸水想定における浸水深と同様に、地盤面からの高さ(水深)で表示されます。  
津波基準水位を用いることにより、避難場所等の建物の安全な高さが明確化されます。  
本防災マップでは、津波による浸水の深さは津波基準水位にて表しています。